

塩江中学校便り 4月



令和6年度スタート

春暖の候、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

この春の人事異動により、新しく6名の教職員が赴任し、令和6年度がスタートしました。

凜と張りつめた空気の中で、希望や期待に胸を膨らませた10名の新入生を迎えた4月10日の入学式、そして始業式においても「チャレンジの大切さ」というテーマで話をしました。

入学式の校長式辞の一部を紹介します。



先日、ネットショッピングで、「失敗しないキャンプ・アイテム」といってキャッチフレーズの商品が売られていました。確かに、便利そうだなと思う反面、何だか違和感を抱きました。キャンプといえば、予想外のことが次々起こるのがとても楽しかったと感じています。なかなか炭に火が点かず、体中が煙臭くなってしまふ。目を離れたすきに肉が真っ黒焦げになってしまう。せっかく作ったカレーをひっくり返してしまう。そんな思い出がたくさんあります。逆に巧く行ったことはそれほど記憶に残っていないのかもしれない。

私はこの「失敗しない」という発想が日本人の空気を支配していると感じることがあります。そのことで息苦しい社会になっているようにも思えます。

みなさんは、この塩江中学校で3年間過ごすこととなります。たくさんの授業を受け、たくさんの行事に参加し、部活動に入る人もいるでしょう。休み時間や放課後には友達と楽しい時間を過ごすこととなります。それらは全てチャレンジでもあります。自分の苦手な勉強に取り組む必要もあります。人間関係の嫌なことにも直面するかもしれません。しかし、そういうときこそ人間が成長するチャンスなのです。失敗を恐れて、チャレンジをやめてしまつては、成長も止まってしまう。失敗を恐れず、チャレンジしていきましょう。そのための3年間です。失敗しながら成長する3年間です。それを生かすかどうかみなさん次第です。(中略)

「10回新しいことを始めれば、9回は失敗する」

低価格帯ながらも、質が良く、流行を取り入れたブランドとして唯一無二のアパレルブランドとなったユニクロの柳井社長の言葉です。柳井社長は「失敗」で学んだことから一つひとつ改善を重ね、現在のユニクロをつくりあげました。失敗は成功の母であり、失敗を恐れては、新しいことに挑戦



できず、すなわち成長はできないということを示しています。塩江中学校の生徒には、失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジし、地元を大切にしながらも日本、世界に羽ばたいていける力を身に付けてほしいと願い、全教職員で教育活動に取り組んでまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。